

『戦争社会学研究』執筆要領（投稿論文用）

（2016.5.21 委員会決定）

（2017.11.4 改訂）

（2023.5.29 改訂）

（2024.2.13 改訂）

1. 形式

- ① 原稿を記述するための言語は、日本語とする。
- ② **Word** あるいはテキスト形式で作成した原稿に限る。また提出時には、**PDF** 形式に変換した原稿も同時に提出すること。
- ③ 原稿は、1 頁あたり 40 字×35 行で作成する。原稿提出は縦書きでも横書きでも構わないが、誌面は縦書きとなる。
- ④ 原稿には表紙を付ける。表紙には、氏名・所属・メールアドレス・タイトル・内容の要約（500 字程度）を明記する。
- ⑤ 和文は全角文字を、英文などは半角文字を基本とする。数字は漢数字とする。
- ⑥ 文字サイズは、すべて 10.5 ポイントとすること。フォントは日本語・英数字ともに **MS 明朝体** であることが望ましい。
- ⑦ 本文の句点は全角「。」を、読点は全角「、」を用いること。
- ⑧ 本文には必要に応じて節見出、項見出を付けること。項見出よりさらに低い階層の区分けは原則として避ける。
- ⑨ 補注については本文の脇に注番号を付し、論文末に注を付すこと。
その際、出典の明記については、**author-date** 方式（文中に「山本、一九五八」といれるスタイル）ではなく、論文末の注の本文に、引用・参照文献をあげるスタイルとする。

【注の本文の例】

- （1）吉野耕作『文化ナショナリズムの社会学——現代日本のアイデンティティの行方』名古屋大学出版会、一九九七年、二二四頁。
 - （2）井上俊「離脱の文化」『死にがいの喪失』筑摩書房、一九七三年、五三頁。
 - （3）吉野前掲書、二二八頁。
- ⑩ 図（写真を含む）・表には、通し番号と図表の簡潔な説明文（キャプション）を付けること。また、各図は本文中の該当箇所にそれぞれ配置すること。なお、図や写真の著作権処理は、原則として投稿者自身が行うものとする。
 - ⑪ 原稿には必ず頁番号を付けること。

2. 分量

タイトル・本文・注・参考文献・図表等を含めて、「文字数（スペースを含める）」を、20000 字以内とすること。図表は 1 点 500 字換算とする。

3. 注意事項

- ① 執筆の際には、投稿者の氏名・所属などが査読者に判別されないよう記述に注意すること。「拙著」「拙稿」などの表現や、研究助成、共同研究者への謝辞など、執筆者と所属機関が特定できる情報は審査用原稿に記載しないこと。ただし、掲載決定後の完成原稿で修正・追記することができる。
- ② 校正に際しては原則として軽微な字句の修正以外は認めない。

以上